なごや北ホームニュース
発行所 なごや北ホームニュース社 〒462-0056 名古屋市北区中丸町1-1 中丸団地3-102 ☎917-7420 FAX 919-0801 発行部数 45,000部

「愛工」ものづくりパワー

創立110周年を迎えた県立愛知工業高校。地元で「愛工」と呼び親しまれる同校に息づいている「ものづくりパワー」を紹介します。

インテリアのデザイン甲子園
文部科学大臣賞に4人が入選

全国高校インテリア「通称「デザイン甲子園」」デザインコンテスト、「では、昨年に引き続き優高位にあた名文部科学大臣賞をはじめ4人が入選、学校も優優秀学校賞に輝きました。

家具のデザインをテーマに競う同大会に人員を乗たしたのはデザイン科の3年生4人。文部科学大臣賞の山口美里さん（大府市）の作品は組み合わせ自在で家族みんなで活用できるユニット家具「@home」。そのほかの「TRANS」（春日井市）、田辺小春さん（西区）の「enkyu」、宇佐美里帆さん（同）の「おでかけチェアー」は新感覚の家具そろいの。

1学期から授業や放課を利用しながら作品に取り組み、同コンテストにはアイデアを1枚のパネルにまとめて応募しました。山口さん、田辺さん、宇佐美さんは実際にその家具を作り、完成作の作品展に出品しました。

卒業後は工芸、建築系の大学に進学、設計関係の企業に就職が決まっている彼女たちですが「（コンテストへの出品は）大変でしたが楽しかったし、自信にもなりました」といきいきと目を輝かせていました。

左から宇佐美さん、山口さん、田辺さん、長沼さん

LEGOロボコン全国大会出場
ライバル制し東海の頂点

子どものころに夢中になった「LEGOブロック」。それをロボットに代えて日本一を目指しました。

情報技術科3年の吉井竜次君（北名古屋市）、黒川壮志君（同）、澤田義弘君（西区）たちチームU2はLEGOロボットコンテストに出場、東海大会・高校生部門では参加63チームのライバルを制し見事優勝し、全国大会に挑みました。

競技はLEGOのパーツを使用して組み立てて開発した独自の機体にコンピューターを組み込み、授業、規定のコートの中の柱をまじ登り、てっぺんにセットされたピンポン玉を回収する動作を繰います。

授業や放課後を利用して開発に取り組み、厚体みも返上してロボットの試行、改良を繰り返し、競技に向けて操作の練習もしました。

「子どものころ、LEGOが好きでした。でもTVゲームで遊び始めるとLEGOはやらなくなってしまいました。この競技はその両方を再び引き合わせてくれました。問題は難しかったけれど最高に楽しかったです」とメンバーの試、少年の夢が羽ばたきました。

左から澤田君、吉井君、黒川君

ものづくりコンテスト全国大会準優勝
化学工業科3年の伊藤陸人君

正確に物を量る―単純だからこそ難しい道を究める挑戦もあります。化学工業科3年の伊藤陸人君（愛西市）は「高校生ものづくりコンテスト、化学分析競技」で全国大会出場の快挙を達成しました。

競技は決められた時間内に溶液などの分析を行い、リポートを提出するもので、高精度の測定（1回ずつ試薬を落として濃度などを測定すること）の技術はもちろん、実験の手順の選定、器具の扱い、所要時間などが総合的に審査されます。

この大会に向けて毎日試定の練習を積んだ伊藤君、1回の3分の1、4分の1というレベルで要求を満足させることができる技能まで身に付けました。

県大会、東海大会と勝ち進み、全国大会を前にした抱負は「よい結果を残すだけでなく、参加した人の記憶に残るような競技がしたい」。その言葉どおり、正確かつ美しい分析は高く評価され、みごと準優勝を果たしました。

伊藤陸人君

エコカーレースで優勝
化学工業科研究部 6人の努力実る

研究部の6人

より少ない燃料でより遠くまで走ることへの挑戦。「高等学校エコカーレース総合大会」燃料電池部門で優勝したのは化学工業科3年生の伊藤陸人君（愛西市）、木村龍馬君（名東区）、吉田浩輔君（西区）、松本大介君（北区）、武藤圭佑君（同）、吉田達矢君（同）の研究部6人のチーム。

レースでは燃料電池に使用する水素は20ccで、制限時間は45分。この条件の下、走行距離を競いました。車体は先輩から代々と受け継いだフレームを利用して制作。当然6人中最軽量の松本君をドライバーに抜てき。「狭い空間でもハンドル操作がスムーズにできるようフィジカルも鍛えましたよ（笑）」と松本君。チームの努力の結晶「白虎号」が打ち立てた記録は41周（1位）でした。

指導にあたった宇佐美教諭は「優勝という結果は彼らの努力についてきたもの。活動を通して『ものづくり』の楽しさを学んでくれたなと思います」と話していました。

溶接競技大会「アート部門」最高賞
電子機械科3年の浅野凌君

溶接の技術を生かしてアート作品を作る、現代の"匠"が誕生しました。電子機械科3年の浅野凌君（西区）は、「愛知県工業高校生溶接競技大会・アート部門」で最優秀賞（知事賞）を受賞しました。

作品名は「TOOL WING」、工具の翼と名付けられたとおり、ガス溶断やプラズマ切断などの技術を駆使して切り取られた工具の形の金属を1枚1枚の羽に見立て、溶接でつなげて翼を形作り工具箱に取り付けたもの。

繊細な造形美もさることながら、厚さの異なる金属を正確に形成したり溶接したりするのには高い技術が必要とされます。

浅野凌君